

令和7年度 公民館運営審議会議事録

日 時:令和7年8月20日(水)13:30~15:00

会 場:川島ライフデザインセンター 集会室

出席者:各務原市公民館運営審議会委員

宮本 邦雄 委員、嶋 一樹 委員、渡部 斉 委員、野中 好子 委員、近藤 亜矢子 委員、
益川優子 委員

(事務局) 丹羽教育長、村瀬産業活力部長、横山いきいき楽習課長

(いきいき楽習係) 齊藤主任主査、中村主事補、熊澤推進員

(中央ライフデザインセンター) 廣江館長、竹中推進員

(西ライフデザインセンター) 丹羽館長、島津推進員

(東ライフデザインセンター) 澤井館長、吉川推進員

(川島ライフデザインセンター) 山田館長、長谷部主査、橋本推進員

1.教育長あいさつ

2.産業活力部長あいさつ

3.委員長副委員長選出

記録割愛

【委員】 事務局案があればお願いします。

【事務局】 昨年に続き、委員長を宮本委員、副委員長を嶋委員にお願いしたいかがでしょうか。

※異議なし

4.議事【委員長、副委員長挨拶、委員長進行】

最初にライフデザインセンター運営方針について説明願います。

① 公民館活動について

- ・各務原市ライフデザインセンター運営方針の説明・・・課長より説明
- ・各ライフデザインセンター講座企画方針について・・・各館長より説明

中央ライフ D.C→西ライフ D.C→東ライフ D.C→川島ライフ D.C

—各委員より—(※要約)

【委員】 ・各ライフデザインセンターが特色ある講座を開催している。担当の方がどの様に講師を見つけ
るのか感心している。

・親子を対象とした講座は、子と保護者が接する機会が少ない中、一緒に参加することにより、親子
が共有する時間が増えるのは大変有意義。

【委員】 ・講座の数の多さに感心する。いろいろな種類や分野の講座があり、対象となる年齢層も幼児から年
配の方までと幅広く、多くの方が学ぶことができるのが素晴らしい。

・学校では「学び続ける人材」として主体的に探究心を持って深く学ぶということを行っている。その
中で、さらに学びたいと思う子供たちにも講座を紹介したい。

【委員】 ・幅広く、小さい子から高齢者までいたるところで参加できる講座が企画されている。最近特に、
子育て世代の男性が参加できる機会が増えた。

- ・健康マージャン、そろばんなど、高齢者が脳の活性化に役立つ講座は受講者の間のつながりもできて好評。
- ・川島のミツバチ等各館の特色を生かした講座など幅広い講座があり、機会があれば私も参加したい。

【委員】 ○質問①:新しい父親支援事業は、大変良い事業ですが、どういった経緯で実施されたものですか？
・講座を受講される方は「お客さん」という意識があるかもしれない。一緒に街づくりをしていく担い手として、講座に参加した人がどう繋がっていくかということが重要であり積極的に関わる仕組みを今後考えてはどうか。また、学んだことを家庭の中で語れるよう、レジュメを配るなどアウトプットの工夫をしてみるのも良いと思う。
・人づくり、地域づくりを念頭においた生涯学習として、地域課題の解決へ接続する学びの設定、事業連携を行い、公民館を社会教育の拠点としていくことが望ましい。(AIを活用した状況の分析を提案)

【事務局】 ○回答①:市全体で少子化対策に取り組んでおり、その一環として実施したものです。

【委員】 ○質問①:講座・講師については立候補ですか？
○質問②:材料費がかかるものなど費用負担は？
○質問③:講師に対する研修などは実施していますか？
○質問④:講師との間にトラブルなどはありますか？
・近頃、教育の現場では、教える側の立場が弱いため、トラブルが発生している。今後、受講者との間でトラブルがあるかもしれないので、注意を。

【事務局】 ○回答①:(中央ライフ)立候補もあるが、情報を収集してこちらからお願いすることが多い。
○回答②:受講料は基本 10 回 3000 円、1 回 300 円。材料費は別で徴収している。
○回答③:特に講習は実施していないが、内容については指導員が事前に打ち合わせを実施。
○回答④:(西ライフ)トラブルはあまりないが、講座内容が事前の打ち合わせと違ったり、講師謝金についての認識が異なっていたりしたことがある。

【委員】 ・それぞれのライフデザインセンターの生涯学習の支援は質、量とも充実しているが、個人的な趣味がメインの講座が多く、地域づくり、まちづくりの生涯学習がはっきりしていない。

○質問①:昨年度のまちづくり推進課の担い手マッチング事業の成果は？
・地域の課題として、子供会の縮小や、外国人の問題、高齢者問題がある。今後、そういった課題からのアプローチも考慮してほしい。

【事務局】 ○回答①:まちづくり推進課で事業評価はしているが、今資料がないのですぐにお答えできない。
※後日、「担い手マッチング事業の成果」を送付。